

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和7年3月3日

事業実施地区	太田地区
事業名	地域住民の教育及び文化の振興を目的とする事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 太田神楽保存会 (代表者名) 代表 小林純一

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

令和6年10月12日（土）開催の弥栄神社秋季例祭にて、太田神楽保存会一同および太田区氏子総代会により太田区内を神楽巡行し、役員宅や弥栄神社境内等にて獅子舞演舞を行う。 当会発足以降、幾度も獅子舞の奉納を行ってきたが、長胴太鼓を締める麻紐が経年劣化により破損したため、交換が必要となった。この長胴太鼓がないと神楽囃子の演奏ができないため、貴支所の助成金を申請させていただくこととなった。 太田区の神社である弥栄神社において、毎年恒例となっている秋季例祭を無事に執り行うことは区民全体の願いであり、それには当会による神楽巡行および獅子舞奉納が不可欠である。	【事業完了日】 令和7年2月28日 【総事業費】 58,000 円 【補助金額】 58,000 円
---	--

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

長胴太鼓麻紐の交換を完了し、令和6年10月12日（土）、弥栄神社秋季例祭にて神楽巡行および獅子舞演舞を行った。 神楽巡行は総勢30名程度となり、賑やかな神楽囃子となった。区内で獅子舞を行った店舗および住居等は10軒を超え、それぞれの場所で多くの地域住民の皆様に獅子舞を見学していただいた。区内の庚申塔にて区民の無病息災を感謝し獅子舞を演舞したほか、弥栄神社では五穀豊穡を感謝し獅子舞（本舞）を奉納した。弥栄神社での奉納舞の際は、多数の近隣住民が獅子舞の見学をした。 当日は早朝より準備をし、午後4時からの出発となったが、神楽保存会と役員等との連携も滞りなく、順調に夜9時の終了までに全ての行程を終えることができた。 太田神楽保存会による神楽巡行および獅子舞の奉納ができたことで、地域住民の無病息災および五穀豊穡に感謝することができ、地域全体として安心して活気ある暮らしを維持することができた。また、地域に根付く伝統文化の継承に繋げることができた。 三連休の初日に開催したことで、実家へ帰省中の若い世代の人達も多く、神楽巡行を通して世代間交流ができ、地域活性化に繋がるお祭りとなった。
--

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容	○			
事業の効果	○			
特記事項 （評価理由等）	当日は午後１時より太田地区育成会による子供神輿があり、夕方からの神楽巡行とあわせて、太田地区全体で楽しめるお祭りの行事として運営ができた。			

■今後の取組予定

伝統文化を継承するため隔週土曜日の練習を継続するとともに、将来にわたり太田神楽保存会が活動することで、太田地区の住民がお互いに信頼しあい、お互いの無病息災および五穀豊穡への感謝の気持ちを再確認し、地域全体がより良く生活できるように、今後も春季・秋季例祭だけでなく各行事への積極的参加をする。

ながの獅子舞フェスティバルへの参加や太田地区の各行事（新年交歓会および敬老会等）で獅子舞を披露することで、伝統文化の継承への理解と協力を求めていく計画である。

また、後継者育成を推進することにより世代間交流を活性化させ、安心して暮らせる地域づくりに寄与する。



